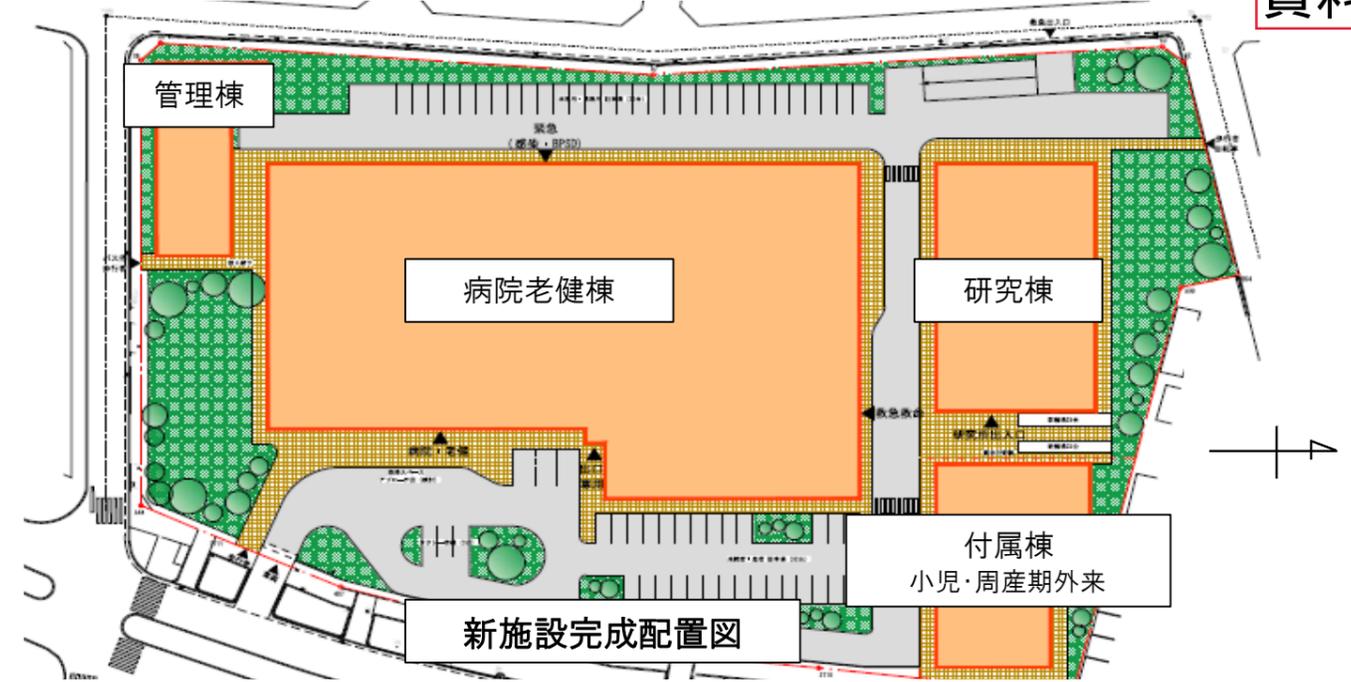




新施設完成イメージパース ※建築計画内容、パース等は今後変更が生じる場合があります。



新施設完成配置図 ※建築計画内容、パース等は今後変更が生じる場合があります。 ※付属棟は民間活力により整備します。

1 新施設の理念(基本構想)

- ▶ 弘済院が培ってきた認知症医療・介護機能を継承・発展させるとともに、認知症の人の身体合併症医療の充実を図る
- ▶ 大阪公立大学医学部附属病院等との密接な連携のもと 大阪市南部基本保健医療圏における小児・周産期医療の充実を図る
- ▶ 健康、医療、福祉施策と連携し、住み慣れた地域で安心して暮らせる循環型の仕組みの構築に寄与する
- ▶ 認知症等に係る先進的な研究及び医療・介護等の人材の育成を推進する

2 運営



3 新施設整備スケジュール

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
病院老健棟 研究棟		実施設計	業者選定	建設工事		
管理棟		住之江診療所			改修工事	
付属棟	準備	公募	設計・建設工事			
						新施設 開設・運営

4 新施設整備概要

(1) 敷地概要
 所在地 大阪市住之江区東加賀屋1丁目
 敷地面積 約15,730㎡

(2) 施設概要
 施設規模 ・病院 [一般病床120床]
 (内訳: ものわすれ病棟 30床、内科系病棟 45床、外科系病棟 45床)
 ・介護老人保健施設 [定員100人]
 (内訳: ものわすれフロア 40人、内科系フロア・外科系フロア 60人)
 ・研究棟
 ・管理棟
 ・付属棟 [小児・周産期外来、薬局、コンビニ(売店)]
 延床面積 ・病院老健棟・研究棟 約22,300㎡
 ・管理棟(現住之江診療所) 約 434㎡
 ・付属棟 約 750㎡
 階数・構造 ・病院老健棟 5階建 [鉄筋コンクリート造・鉄骨造]
 ・研究棟 3階建 [鉄筋コンクリート造]
 ・管理棟 1階建 [軽量鉄骨造]
 ・付属棟 1階建

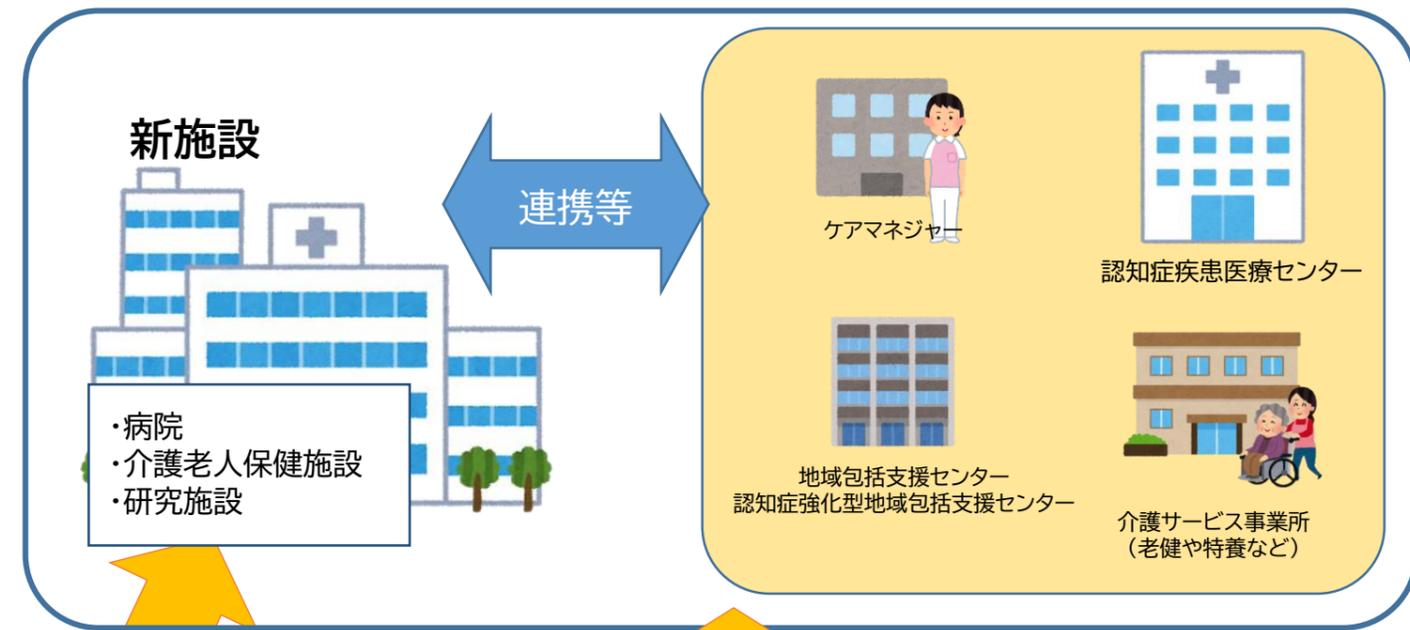
(3) 診療科目
 病院診療科目: 17診療科
 神経精神科、脳神経内科、呼吸器内科、代謝内分泌内科、皮膚科、総合診療科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、脳神経外科、放射線診療科、麻酔科、小児科、産婦人科

新施設整備後の認知症の人の地域包括ケアシステムの検討に向けて(案)

- 弘済院が培ってきた医療・介護機能を継承・発展させる新施設を整備する（令和7年度中開所予定）
- 新施設は、大阪市の認知症対策の中核的役割を担う施設とする

新施設の機能等(基本構想)

- ①弘済院の認知症医療・介護機能の継承・発展及び認知症の人の身体合併症医療の充実
- ②認知症等に係る先進的な研究及び医療・介護等の人材育成を推進
- ③健康、医療、福祉施策と連携し、**住み慣れた地域で安心して暮らせる循環型の仕組みの構築に寄与**



高齢福祉専門分科会
(認知症施策部会)



地域循環型システム
検討ワーキング 報告

意見等



★検討内容の反映

地域循環型システム
検討ワーキング

大阪公立大学



新施設の運営を担う公立大学も参加し、認知症の人の地域包括ケアシステムにおける新施設の役割や地域連携運用等の検討を行う

※新施設は大阪市認知症施策の中心的役割を担うことから、認知症施策全体の観点からの役割や対応等について、認知症施策部会からの意見を参考に検討を進める

※認知症施策部会からの意見を参考に検討を進める

大阪市の認知症施策の中で新施設がどういう役割を担うべきかなどについては、認知症施策全体で整理等行う必要があり(主に基本構想③)、認知症施策部会からの意見を参考に検討を進める。